

スヌーズレンとは

スヌーズレンは、1974 年にオランダの重度知的障害者施設で生まれた活動で、

「誰もが安心して、自分らしく過ごせる空間づくり」を目的としています。

名前はオランダ語の「スヌッフレン（匂いを嗅ぐ）」と「ドゥースレン（うとうとする）」から作られた造語で、

「自由に外界を探索し、心地よくまどろむ」ことを意味します。

スヌーズレンの特徴と効果

- ・ 視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など、五感を心地よく刺激する環境を提供
- ・ 利用者が自分のペースで、好きな感覚を選びながら過ごすことができる
- ・ 心の安定や満足感、喜びを引き出し、想像力や意欲の向上につながる
- ・ 支援者との関わりの中で、安心できるコミュニケーションの場をつくる

教育現場での活用

スヌーズレンは、重度の障がいがある子どもたちの教育的ニーズに応じて活用され、

以下のような効果が期待されています：

- ・ 感覚・情緒・運動・コミュニケーション面の発達支援
- ・ 注視・追視、手や身体の動きの促進
- ・ 興味・関心の広がり、集中しやすい環境づくり

スヌーズレンルームの環境づくり

快適で安全な空間をつくるために、以下の点に配慮します：

- ・ 適度な温度(22～24℃)、換気、調光
- ・ クッションや毛布、音楽、香りなどの感覚刺激の工夫
- ・ 利用者のニーズに合わせた空間設定
- ・ 支援者との調和を大切にし、干渉しすぎず、利用者のペースを尊重

世界での広がり

スヌーズレンは現在、保育所・学校・病院・家庭など、障がいの有無を問わず多くの場面で活用されています。

イギリス、アメリカ、スウェーデン、ドイツなど世界各国でも「多重感覚環境」として広く知られています。

参考文献

- ・ 『スヌーズレンの基礎理論と実際』／クリスタ・マーテンス、姉崎 弘
- ・ 『スヌーズレンの世界』／ヤン・フルセツヘ、アド・フェアフル、姉崎 弘
- ・ 第1回スヌーズレン研修会資料／姉崎 弘
- ・ 『スヌーズレンを利用しよう！』／河本 佳子

本校のスヌーズレン

今後ここに写真を掲載予定。